

東京大学オンサイト自家消費型太陽光発電設備の推進状況について

【概要】

本学ではグリーントランスフォーメーション（GX）を行動計画の柱の一つとして2008年より継続しているTSCPによる省エネルギーの取組に加え、国連による国際キャンペーンRace to Zeroに国立大学として初めて参加し、Scope1、2における大学のCO₂排出量に対2013年度比で2030年までに50%、2040年までに75%削減、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを達成するための行動計画として「**UTokyo Climate Action**」を策定している。

その目標達成の対策の一つにオンサイトでの創エネ導入が重要と位置付け、2023年度においては**本郷地区・駒場Ⅰ・白金台の3キャンパス**に**公益財団法人東京都環境公社の地産地消型再エネ増強プロジェクト**の助成金を活用し、建物屋上スペース等を活用した大規模な都市型太陽光発電設備の整備を進めております。

既に設置されている駒場Ⅰおよび駒場Ⅱキャンパスの**NEDO太陽光発電主力電源化推進技術開発**による設置を加え、太陽電池モジュール**全体で約1.3MW**となり、温室効果ガスの排出削減量は**約670[t-CO₂/年]**となります。

【事業計画】

- ①2023年度にⅠ期計画として都内主要キャンパス屋上に約1.2MWの太陽光発電設備を2023.12に完成
- ②2024年度にⅡ期計画として都外にも範囲を広げ部局手上げ方式でⅠ期と併せ最大約3.0MWを計画
- ③2025年以降もオンサイト自家消費型太陽光発電設備の範囲を広げ5.0MWを目指す



※公益財団法人東京都環境公社の地産地消型再エネ増強プロジェクトの助成金

本郷地区キャンパス

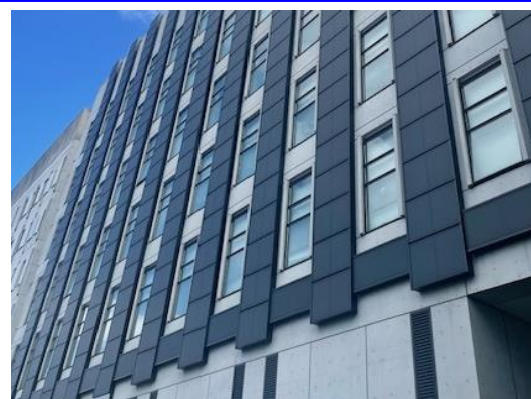
太陽光発電システム総出力 440kW
太陽電池モジュール 660W×723枚
パワーコンディショナ20kW×22台



※公益財団法人東京都環境公社の地産地消型再エネ増強プロジェクトの助成金

駒場Ⅰキャンパス

太陽光発電システム総出力 480kW
太陽電池モジュール 660W×845枚
パワーコンディショナ20kW×24台



先端科学技術研究センター3号館南棟壁面太陽光発電設備
※ NEDO太陽光発電主力電源化推進技術開発による設置

駒場Ⅱキャンパス



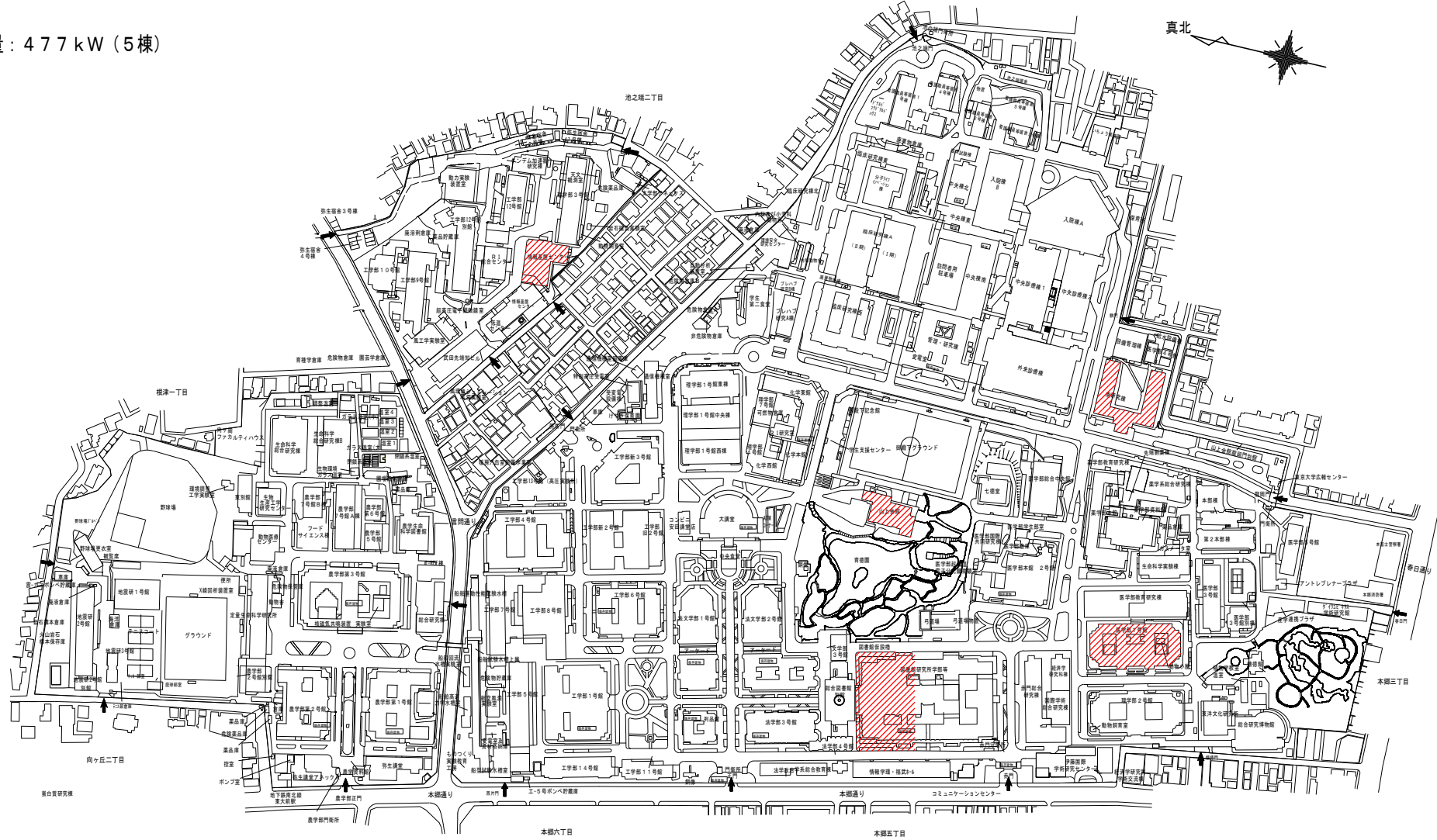
※公益財団法人東京都環境公社の地産地消型再エネ増強プロジェクトの助成金

白金台キャンパス

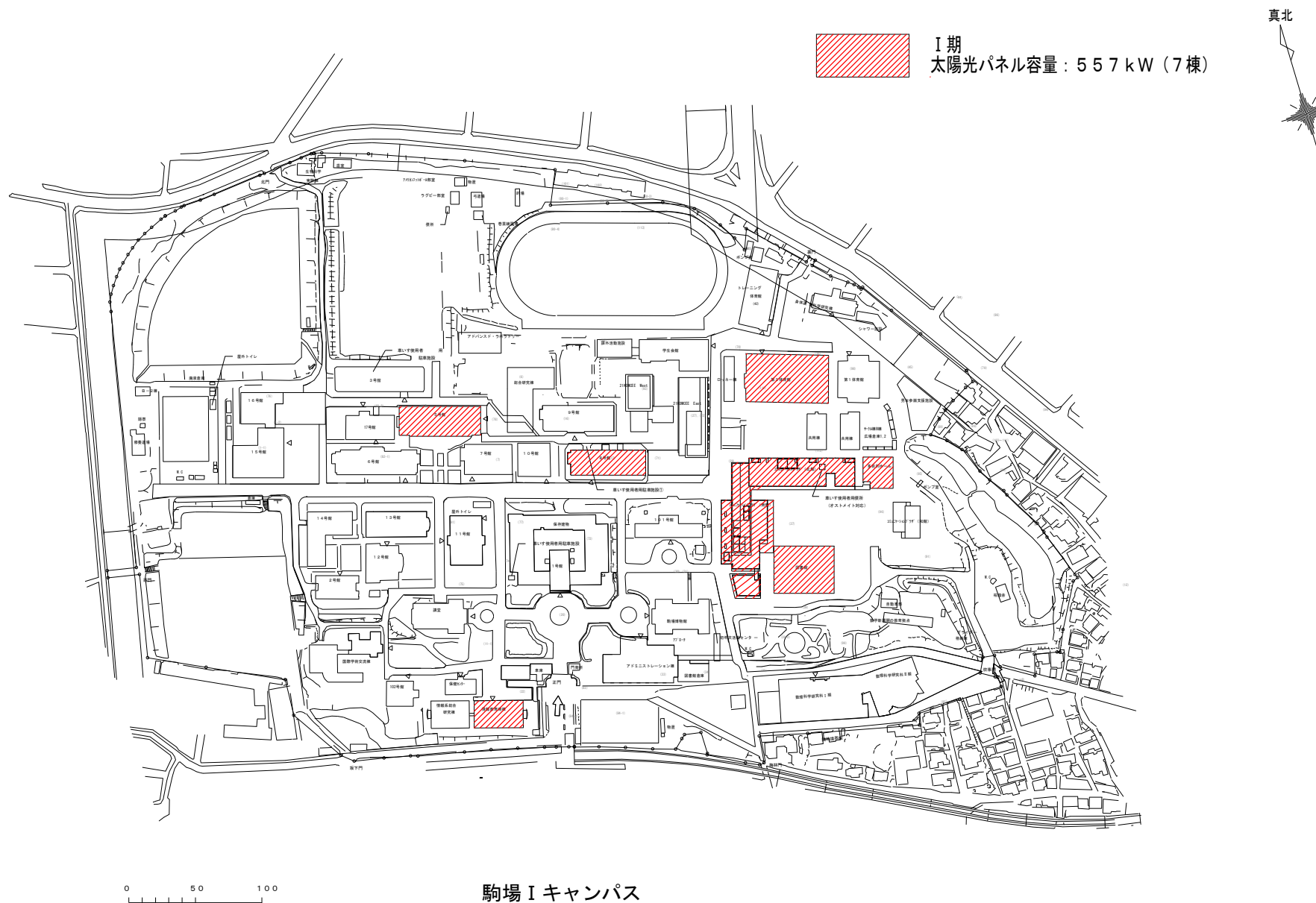
太陽光発電システム総出力 172kW
太陽電池モジュール 660W×262枚
パワーコンディショナ20kW×9台



I 期
太陽光パネル容量：477kW（5棟）



本郷地区キャンパス





白金台キャンパス